

花鳥風月・俳句

だんじりのかき夫も自肅の秋まつり

テレビより紅葉鮮やか石鎚山

命日や珈琲の香りすすき揺れ

石井 トシ子

足元が寒くて上着かけてねる

唐辛子眞赤なうちに取り込もう

加藤 イサ子

百代の首相に期待すす払い

田中 良子

そぞろ寒炊き込みご飯温きこと

秋の蚊や痒みで夜半目が覚めし

日々好日釣瓶落としの空仰ぐ

徳永 誠一

狭畑に蝶の乱舞や艶めきて

山すすき揺れて白銀風に浮く

塗堀 良子

父植えし秋天を突く杉木立

習ひたる曾孫の漢字敬老日

俄雨ありて予定の稲刈れず

三浦 シズ子

世界の選手とプールを泳ぐ

土岐 郁子

お盆月掃除・花立て墓清め

明星 勲

九才の思い出たどる夜長かな

丈高く天に向かって紫苑咲く

小野 宮子

行水で洗ってくれた祖母恋し

秋耕や老妻共に紅葉狩

氏神に祭りを告げる紅葉かな

藤田 盛男

田棚這う赤色流れ山裾へ

もも色の色付け見事菊の花

篠原 高代

澄み渡る冬の夜空に星が舞う

寒風に晒され生きる瀬戸の海

コンビニの灯り眩しや冬銀河

小野 弘幸

ひめの凜掛けて撓むる稲木かな

坪庭に捜す罫や赤とんぼ

大小の熊手に福の差のあらん

越智 和人

せみの声降くる山に野に庭に

曾我部 福石

履くことのなき亡父の靴秋彼岸

今城 宏子

釣りはまちさばく手ほどきユーチューブ

太鼓台出ずとも揃う子らとやに

浅木 由紀美

豊かなる蜜源の地のこぼれ萩

不如帰寂庵庭に咲くと聞く

渋皮煮秘伝のレシピそのままに

小林 泰子

冬めくやガラスに映る我が猫背

凧に背なを蹴らるる無人駅

足跡を確かめている冬渚

小田 慶喜

ふうと息吐き見上げたる小春空

斜めへと横切る冬田子らの列

冬霞とどめ盆地の赤き橋

小田 和子